opusdei.org

属人区長のメッセー ジ(2024年9月11 日)

来る十字架称賛の祝日にむけて、オプス・デイ属人区長は、主が亡くなる直前に発せられた七つの言葉のうちの一つを黙想します。

2024/09/11

愛する皆さんへ。イエスが私の子どもたちを守ってくださいますように!

来る9月14日、私たちは十字架称賛を祝います。ゴルゴタのイエスを観想することによって、私たちは常により多くのことを学ぶことができますが、ここでは主があの丘から発せられた七つの言葉のうちの一つ、「私は渇く」(ヨハネ19・28)という言葉に着目することを皆さんに勧

めます。

キリストは人々の救いに渇いていま す。世界を贖い、自身の言葉と愛を 全ての人の心に届けることに渇いて います。このことは私たち一人ひと りに問いかけます。私は同じ渇きを 抱いているだろうか?私は主のみ心 に燃え上がる火を自分のものにして いるだろうか?私は自分が置かれて いる場所において人々の救いへの思 いに駆られているだろうか?私は恐 れずに大胆に、祈りと償いと誠実な 友情によって、周囲にいる人々の心 が燃え上がるよう努めているだろう か?私たちの使命は自らの心にある

主の火を(世界の只とではおるとはであるとに届けることに思いてというとに思いているというではない。役をであるとはないのではないのではない。後にであるとないの信仰であるとはないの信がであるというではない。のはないではない。のはないではない。のはないではないではないがであるというではない。既不、なうがはない。「道』1番)。

「照らす」「ぬぐい去る」「燃え上がらせる」。イエスの傷ついたみ心を観想し、聖霊の力によって私たち自身が同じ火で燃え上がるにしたがって、これら3つの動詞は私たちの生活において存在感を増して私たちます。以前、私は皆さんに「私たいよちは使徒職をする」ということを思いよう促しました。私たちキリスト

者は地上における道々を〈通りかかる〉キリストです。私たちは、自身の卑小さにもかかわらず、神の恵みによって、人々の知性を明確な教えによって照らし、自ら償うことによって罪の汚れをぬぐい去り、人々の心を愛によって燃え上がらせたいと望んでいます。

聖なる十字架は私たち皆に語りかけ ます。愛することを恐れず、命を溢 れんばかりに与えましょう。そのこ とによって私たちが命を失ってしま うように思えることがあってもで す。なぜなら実のところそうではな いからです。生き様によってキリス トを表すことを恐れないでくださ い。キリストを大勢の人が渇きなが ら探しています(多くの場合彼らは それを自覚していません)。「キリ ストの生涯と死去はわたしたちの営 む生活そのものになるべきである。 キリストが神の愛ゆえにわたしたち のなかで生きてくださるように、犠 牲と償いのうちに死ななければならない。そこで、主に協力して全人類を贖いたいとの強い望みをもち、キリストの御跡に従うのである」 (『十字架の道行』第十四留)。

イエスをありとあらゆる場所に〈届ける〉という望みにおいて、病人の皆さんは特に効果的な支えです。私たちは来る15日に悲しみの聖母を観想します。皆さんはマリアとともにキリストの十字架と一致し、苦しみによって世界を支え、使徒職的実りの源となっています。

苦しみの経験をとおして、私たちの中で信仰の光、希望の確かさ、愛の火がいっそう強まるように、オプス・デイと教会のすべての人のために主に願いましょう。そしてそれらと共に喜びが増すように。そうです、十字架における喜びもです:lux in Cruce, requies in Cruce, gaudium in Cruce!(十字架における光、十字

架における安らぎ、十字架における 喜び!)

以前お伝えしたとおり、オプス・デイの規約の適合化について検討する専門家による会議が数日中に開かれます。祈りによってこの作業に同伴しましょう。

すべての愛情を込めて皆さんを祝福 します。

皆さんのパドレ

フェルナンド

ローマ、2024年9月11日

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkuchou-messeeji-20240911/(2025/12/13)